

総合的な学習の時間（人権）学習指導案

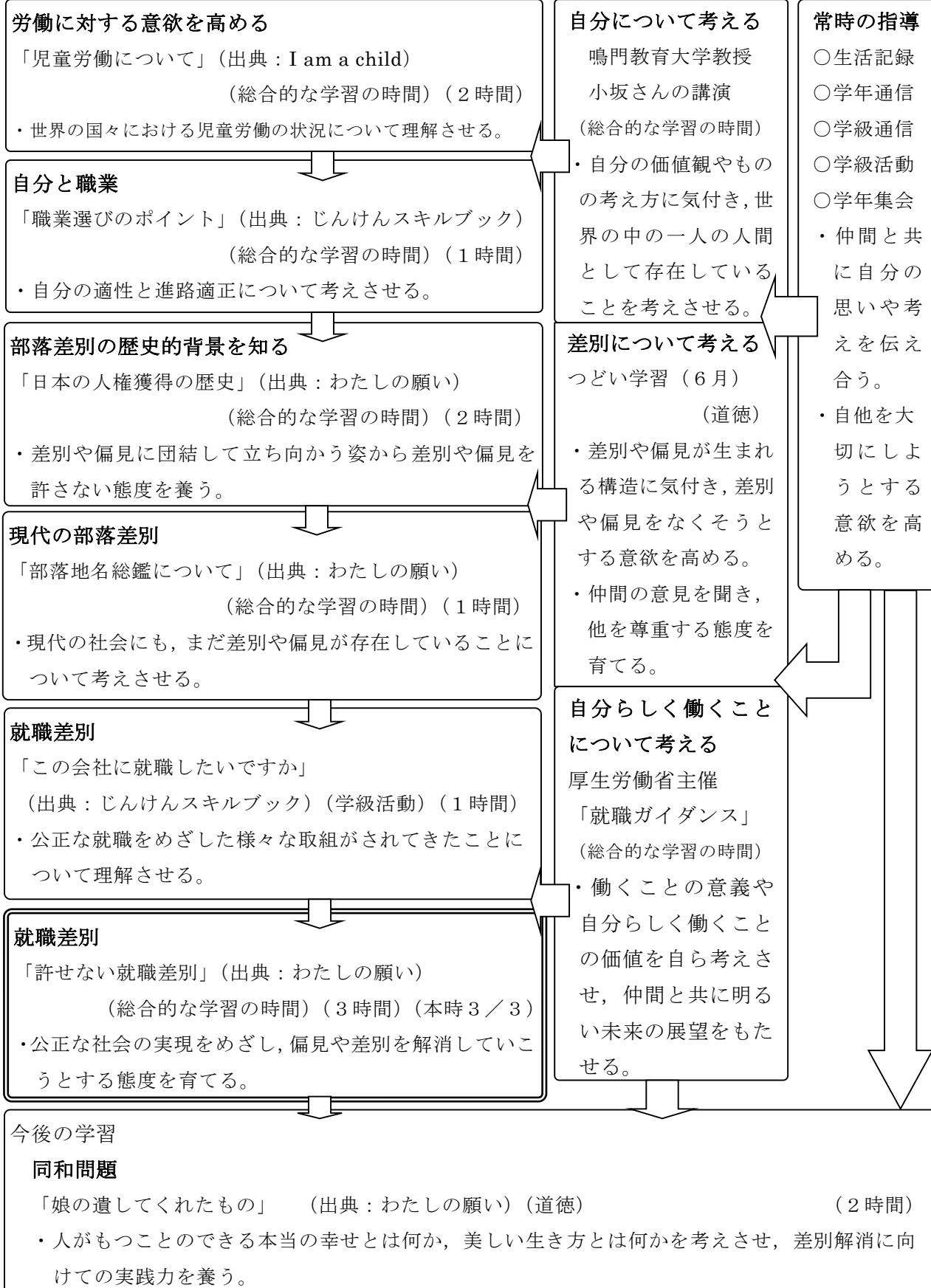
1 主題 公正な社会の現実をめざして

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

就職差別に関する学習を通して、「職業選択の自由」を阻害する就職差別の存在を認識し、誰もが公平な立場で職業選択ができる公正な社会の現実をめざそうとする態度を育てる。

4 指導計画（時間）



5 本時の学習

(1) 目 標

かつて使用されていた社用紙の中にある問題や差別性を理解させ、公正な社会の実現をめざし、偏見や差別を解消していこうとする態度を育てる。

(2) 普遍的な学習のテーマ 法の下の平等

個別人権課題名 同和問題

(3) 展 開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返る。	○かつて使用されていた社用紙の問題点や差別性に気付き、就職差別解消に向けて取り組んできた歴史を想起させる。 ○本人に責任のない事柄を選考基準にしてはいけないことを再確認させる。 ①
2 就職差別解消に向けての取組について考える。	○学習する前と現在の自分の考えを比べ、変化したことやその理由などを中心に話し合わせる。 ③
3 公正な社会の実現をめざして、差別選考をなくすためにこれからの生き方について考え、発表する。	○これまでの学習を通して、差別選考を自分の問題として捉え、自分にできることを考えさせる。 ②
4 本時のまとめをする。	○友達の意見を聞いて、差別解消に向けて主体的に行動していこうとする意欲を高める。 ②③

(4) 評 価

- ・全国高等学校統一用紙ができるまでの歴史的経緯が、差別解消をめざした取組だったことを理解することができたか。 (知識的側面) ①
- ・公正な社会の実現に向けて自分に何ができるかを考え、差別解消に向けての意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ②
- ・自分自身の変容やこれからの生き方について、他者の意見を受け止めるとともに、自分の考えを表現することができたか。 (技能的側面) ③